

外国語活動学習指導案

学習者 附属小学校4年1組 34名
指導者 伊東 大智 (3/5)

学習者 附属小学校4年2組 34名
指導者 丸尾 剛廣 (1/5)

学習者 附属小学校4年3組 35名
指導者 平林 侑子 (4/5)

ALT Edward Kellerman

単元名 大分県や日本のおいしい食材を使ったオリジナルサンドのアイデアを広げ、大分大学の留学生にすすめてみよう！

(教材 4年—Unit 7 What do you want? ほしいものは何かな?)

1. 単元の目標

大分大学の留学生にすすめるオリジナルサンドのアイデアを広げるために、欲しい食材について、慣れ親しんだ簡単な語句や既習の基本的な表現を使ったり、ゆっくり話したり、繰り返したり、動作を交えたりするなど、相手に伝わるように工夫しながら、質問をしたり質問に答えたりして伝え合う。

2. 単元について

必然性	大分大学の留学生にすすめるオリジナルサンドのアイデアを広げるために、どんな食材がほしいか尋ね合う
リアル感	大分大学留学生へのオリジナルサンドの紹介が実現する
楽しさ	オリジナルサンドに入りたい食材を考えたり交換し合ったりする楽しさ
相手意識	オリジナルサンドに入りたい食材について友だちに伝わるように質問したり答えたりしようとする意識 大分大学の留学生が喜ぶオリジナルサンドをつくろうとする意識

3. 言語材料 (下線は新出表現)

- **What do you want? I want ~, please. How many? (Two), please. Here you are. Thank you.**
- 果物・野菜(vegetable, potato, cabbage, corn, cherry)、飲食物 (sausage)

[既出] What's this? It's ~. Do you have ~? Do you like ~? Yes, I do. / No, I don't. I [have / don't have] ~.
果物・野菜、飲食物、数 (1~60)

[期待する既習表現] I [like / don't like] ~.、 Here you are.、 Thank you very much! You're welcome.、 Sorry.、 I'm sorry.、 Look.、 Really?、 Me, too.、 My turn.、 Your turn.、 I think so, too.、 I have a question.、 Pardon?、 One more time, please.、 Slowly, please.、 More loudly.、 Nice idea!、 Don't worry. Wonderful!、 Fantastic!

4. 該当する学習指導要領における領域別目標と、本校における Challenge・Can-Do リストとの関連

話すこと「やり取り」	学習指導要領 【CS】	ウ サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりするようになる。
	Challenge リスト 【CL】	(ウ) 体調や気分を表す言葉や、好きな食べ物や文房具、校内の場所などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりしようとする。

5. 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと「やり取り」	大分大学の留学生におすすめするオリジナルサンドの食材について、 What do you want? や I want ~, please. などを用いて、質問をしたり質問に答えたりすることに慣れ親しんでいる。	大分大学の留学生におすすめするオリジナルサンドの食材について、慣れ親しんだ簡単な語句や既習の基本的な表現を使ったり、ゆっくり話したり、繰り返したり、動作を交えたりするなど、相手に伝わるように工夫しながら、質問をしたり質問に答えたりして伝え合っている。	大分大学の留学生におすすめするオリジナルサンドをつくるために、欲しい食材について、慣れ親しんだ簡単な語句や既習の基本的な表現を使ったり、ゆっくり話したり、繰り返したり、動作を交えたりするなど、相手に伝わるように工夫しながら、質問をしたり質問に答えたりして伝え合おうとしている。

6. 「話すこと〔やり取り〕」に焦点をおいた単元の指導と評価の計画（5時間）

時	目標（◆）と主な活動（〔 〕, ○） 〔 〕=誌面化されている活動	評価			
		知技	思判表	態度	◎評価の観点（評価規準）〈方法〉
1	<p>◆単元の見通しを持つとともに、食材の言い方に慣れ親しむ。</p> <p>○Let's listen 大分大学の留学生からのビデオメッセージを見て、どのような内容を話しているか考える。</p> <p>○Let's listen HRTやALTがサンドの食材を交換し合う動画を見て、どのようなやり取りをしているか考える。</p> <p>○本単元ではオリジナルサンドづくりに向けアイデアを広げていくという見通しを持ち、単元を通した目標と学習計画を立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>大分県や日本のおいしい食材を使ったオリジナルサンドのアイデアを広げ、大分大学の留学生におすすめしよう！</p> </div> <p>○本時のめあてを立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>オリジナルサンドにどんな食材を入れるか考え、言い方に慣れよう。</p> </div> <p>○身近な食材やサンドに入れたい食材の言い方を既習の語彙をもとに予想したり、ALTに質問したりしながら繰り返し発話し、英語表現に慣れ親しむ。</p>				<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p> </div>

○本時のめあてを立てる。

オリジナルサンドアイデアショップでアイデアを交換するための質問の仕方や答え方に慣れよう。

○Let's listen

サンドの食材を交換し合う動画を見て、やり取りに必要な表現を考える。

【Let's Chant】：What do you want? P.27

○Activity

：欲しい食材について質問し合い、交換し合う。

[想定される児童の姿]

児童1：Hello. 児童2：Hello.

児童1：What do you want?

児童2：I want karaage, please.

児童1：How many?

児童2：Two, please.

児童1：Here you are.

児童2：Thank you.

○やり取りにおける困りを出し合い、やり取りで使えるような既習の表現や伝え方を考える。

○やり取りを動画に残し、単元を通した成長を記録する。

や

「話すこと(やり取り)」の記録に残す評価

◎サンドの食材について、
What do you want? や I want ~, please. などを用いて、質問をしたり質問に答えたりすることに慣れ親しんでいる。

〈動画点検・振り返りシート記述点検〉

3 ◆欲しい食材について、慣れ親しんだ簡単な語句や既習の基本的な表現を使うなど、相手に伝わるように工夫しながら、質問をしたり質問に答えたりして伝え合う。

【Let's Chant】: What do you want? P.27

○本時のめあてを立てる。

欲しい食材を交換し合って、オリジナルサンドの食材のアイデアを増やそう。

○前時の困りの解消に向けた話し合いを振り返り、本時の Activity で使えそうな既習の語句や表現を確認する。

○Activity

欲しい食材について質問し合い、交換し合う。途中、困りの解決方法や友だちの表現のよさを交流し合い交流に生かす。

[想定される児童の姿]

児童 1 : Look. This is my foods.

What do you want?

児童 2 : What's this?

児童 1 : It's fried Sekiaji...

児童 2 : One more time, please.

児童 1 : It's fried Sekiaji...

児童 2 : Fried Sekiaji? Nice idea!

児童 2 : I want fried Sekiaji please.

児童 1 : Fried Sekiaji? O.K! Here you are.

児童 2 : Thank you.

児童 2 : What's this?..

児童 1 : It's fried chicken.

児童 2 : I have fried chicken. Sorry.

児童 1 : Don't worry.

児童 2 : What's this?..

児童 1 : It's French bread. It's very hard.

児童 2 : Oh! Nice idea!

I want French bread, please.

児童 1 : O.K! How many?

児童 2 : Two please.

児童 1 : Here you are.

児童 2 : Thank you.

児童 1 : You are welcome.

「話すこと(やり取り)」の記録に残す評価

◎オリジナルサンドのアイデアを増やすために欲しい食材について、慣れ親しんだ簡単な語句や既習の基本的な表現を使うなど、相手に伝わるように工夫しながら、質問をしたり質問に答えたりして伝え合っている。

〈行動観察・振り返りシート記述点検〉

◎オリジナルサンドのアイデアを増やすために欲しい食材について、慣れ親しんだ簡単な語句や既習の基本的な表現を使うなど、相手に伝わるように工夫しながら、質問をしたり質問に答えたりして伝え合おうとしている。

〈振り返りシート記述点検〉

や

や

◆欲しい食材について、慣れ親しんだ簡単な語句や既習の基本的な表現を使ったり、ゆっくり話したり、繰り返したり、動作を交えたりするなど、相手に伝わるように工夫しながら、質問をしたり質問に答えたりして伝え合う。

【Let's Chant】: What do you want? P.27

○本時のめあてを立てる。

欲しい食材を交換し合って、オリジナルサンドのアイデアを増やそう。

○前時の Activity を振り返り、相手意識を持ったやり取りのために使いたい語句や表現、伝え方を確認する。

○Activity

前時の学習を生かしながら、欲しい食材について質問し合い、交換し合う。途中、困りの解決方法や友だちの表現のよさを交流し合い交流に生かす。

[想定される児童の姿]

児童 1 : Look. This is my foods.

What do you want?

...(動作をつけて)...

児童 2 : What's this? (指さしながら)...

児童 1 : It's fried Sekiaji.

児童 2 : One more time, please.

...(動作をつけて)...

児童 1 : It's fried Sekiaji. (ゆっくりと)...

児童 2 : Fried Sekiaji? Nice idea!

I want fried Sekiaji please.

児童 1 : Fried Sekiaji? O.K! Here you are.

児童 2 : Thank you.

児童 2 : What's this? (指さしながら)...

児童 1 : It's fried chicken. (ゆっくりと)...

児童 2 : I have fried chicken. Sorry.

児童 1 : Don't worry.

児童 2 : What's this? (動作をつけて)...

児童 1 : It's French bread. It's hard?

児童 2 : Oh! Nice idea!

児童 1 : Yes! It's very hard.

児童 2 : I want French bread, please.

児童 1 : O.K! How many?

児童 2 : Two please. (動作をつけて)...

児童 1 : Here you are.

児童 2 : Thank you.

児童 1 : You are welcome.

「話すこと(やり取り)」の記録に残す評価

◎オリジナルサンドを作るために欲しい食材について、慣れ親しんだ簡単な語句や既習の基本的な表現を使ったり、ゆっくり話したり、繰り返したり、動作を交えたりするなど相手に伝わるように工夫しながら、質問をしたり質問に答えたりして伝え合っている。

〈行動観察・動画点検〉

◎オリジナルサンドを作るために欲しい食材について、慣れ親しんだ簡単な語句や既習の基本的な表現を使ったり、ゆっくり話したり、繰り返したり、動作を交えたりするなど相手に伝わるように工夫しながら、質問をしたり質問に答えたりして伝え合おうとしている。
〈振り返りシート記述点検・動画点検〉

や

や

	○やり取りを動画に残し、単元を通した成長を記録する。			
--	----------------------------	--	--	--

5 オリジナルサンドのアイデアについて、相手に伝わるように工夫しながら大分大学の留学生に紹介する。

○本時のめあてを立てる。

オリジナルサンドを、大分大学の留学生に紹介しよう。

○大分大学の留学生にオリジナルサンドを紹介する際に、見えそうな表現を確認する。

○Activity

オリジナルサンドのアイデアを、大分大学の留学生に紹介する。

[想定される児童の姿]

児童 : Look. This is my original sand idea for you.

留学生 : Thank you! Tell me, please..

児童 : It's fried Sekiaji special sand!
It's French bread.
It's fried Sekiaji...
It's lettuce and mayonnaise.

留学生 : What is Sekiaji?

児童 : It's Oita's famous fish!
It's very yummy!

留学生 : Oh! Nice! Thank you!

児童 : Here you are.

留学生 : Thank you.

や

「話すこと(やり取り)」の記録に残す評価

◎オリジナルサンドのアイデアについて、慣れ親しんだ簡単な語句や既習の基本的な表現を使ったり、ゆっくり話したり、繰り返したり、動作を交えたりするなど相手に伝わるように工夫しながら、質問をしたり質問に答えたりして伝え合おうとしている。

〈振り返りシート記述点検・行動観察〉

7. 本時の指導 (授業者 丸尾 剛廣)

Unit 7 単元名 大分県や日本のおいしい食材を使ったオリジナルサンドのアイデアを広げ、
大分大学の留学生におすすしめしよう！ 1/5時間

本時のねらい 大分大学の留学生におすすしめするオリジナルサンドイッチづくりについて、大分大学の留学生からのビデオメッセージや HRT や ALT がサンドの食材を交換し合う動画から分かることを交流し合ったり、身近な食材やサンドに入りたい食材の言い方を既習の語彙をもとに予想したり繰り返し発話する活動を通して、単元の見通しと意欲を持つとともに、食材の言い方に慣れ親しむようにする。

(評価規準) ※本時案に位置づける

具体的な児童の姿 「大分大学の留学生が喜ぶオリジナルサンドを作りたいな。そのためには、食材のアイデアが必要だ。」

「食材には唐揚げを入りたいな。唐揚げは、Fried chicken と言うんだな。」

時間	児童の活動	指導者の活動 ①評価(方法) ※支援を要する児童への手立て
5分	<p>Greetings</p> <p>○はじめのあいさつをする。</p> <p>Warming up</p> <p>○Classroom English Practice</p>	<ul style="list-style-type: none"> 児童の言いやすいスピードに調整しながら言うようにする。
20分	<p>Activities</p> <p>○Let's listen</p> <p>大分大学の留学生からのビデオメッセージを見て、どのような内容を話しているか考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 大分大学の留学生3人が、日本や大分県のおいしい食材を使ったサンドを考えてほしいと話すビデオメッセージを見せる。 どのような内容を話していたか確認するとともに、それぞれの留学生のニーズ(好きな味、食材、食感など)を整理し位置づける。

A: Hello! Nice to meet you.
We are international student of Oita university.
We have a big favor to ask of you!

B: We love Japanese foods and Oita's food.
And, We like sandwiches.

C: Please make us delicious original sandwiches.

A: Hi, I'm マルチナ. I like Oita's foods.
I like vegetables and fruits very much.
I like sweet taste.

B: Hi, I'm ソレン. I like Japanese foods.
I like chickens and eggs very much.
I like spicy taste.

C: Hi, I'm ダズマン. I like Oita's foods.
I like meats and eggs very much.
I like salty and sour taste.

ABC: Please tell us delicious original sandwiches!

Name	~ (^^)	~ (^^)	~ (^^)
	♥Japanese foods	♥Oita's food	♥Oita's food
Food	鶏肉 卵	野菜 フルーツ	肉 卵
Taste	辛い	甘い	塩辛い すっぱい

○Let's listen

HRTがサンドの食材を交換し合う動画を見て、どのようなやり取りをしているか考える。

A : Look. This is my foods.

What do you want?

B : What's this?

A : It's hamburger steak.

B : One more time, please.

A : It's hamburger steak.

B : hamburger steak? Nice idea! ダズマン says "I like fish".

I want hamburger steak, please.

A : Hamburger steak? O.K! How many?

B : Two please.

A : Here you are.

B : Thank you.

A : You are welcome. What do you want?

B : What's this?

A : It's ベリーツ. (ゆっくりと)

B : ベリーツ? What is ベリーツ?

A : It's Oita's delicious strawberry.

B : What's taste?

A : It's sweet and sour. It's yummy.

B : Nice idea! マルチナ says "I like fruits.

I want ベリーツ, please.

A : O.K! How many?

B : Three please.

A : Here you are.

B : Thank you.

A : You are welcome.

What do you want?

B : What's this?

A : It's French bread.

B : French bread? What is French bread?

A : It's very hard.

It's 「フランスパン」 in Japanese.

B : I see! It's 「フランスパン」 .Nice idea!

B : I want French bread, please.

A : O.K! How many?

B : One please.

A : Here you are.

B : Thank you.

・HRT が欲しいサンドの食材を尋ね交換し合う動画を見せ、HRT がやり取りを通して食材のアイデアを広げていたことを確認する。

※動画のメッセージを聞き取ることが困難な児童には、動画を途中で止め、話している内容を全体で確認したり、動画のスロー機能を使いゆっくりとメッセージを聞かせたりするようにする。

	<p>○本單元ではオリジナルサンドづくりに向けアイデアを広げていくという見通しを持ち、単元を通した目標と見通しを持つ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>大分県や日本のおいしい食材を使ったオリジナルサンドのアイデアを広げ、大分大学の留学生におすすめしよう！</p> </div> <p>○本時のめあてを立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>オリジナルサンドにどんな食材を入れるか考え、言い方に慣れよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・大分大学の留学生からのメッセージや、HRT やALT の食材のアイデアの広げ合いから話し合ったことをもとに、大分県や日本の食材を使ったオリジナルサンドのアイデアを互いに広げ合い、大分大学の留学生におすすめするという見通しを持つことができるようにする。 ・本時は、オリジナルサンドに入れる食材を考え、その言い方に慣れていくという見通しを持つことができるようにする。
15分	<p>○身近な食材やオリジナルサンドに入れた食材の言い方を既習の語彙をもとに予想したり、調べたりしながら繰り返し発話し、英語表現に慣れ親しむ。</p> <p>【Let's play】 指さしゲーム</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・【Let's Watch and Think】で確認した身近な食材の言い方を中心に、絵カードを使いながら確認し、何度も繰り返し発話させるようにする。 ・現段階で思い浮かぶ食材のアイデアを考え、その言い方を考えたり、調べたりできるようにする。 ・What do you want? と子どもに尋ねさせ、HRT が I want ~, please. と返す形で進めるようにする。
5分	<p>○Reflection 本時の振り返りをする。</p> <p>Greetings</p> <p>○おわりのあいさつをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本單元への意気込みや、入れたい食材の言い方に慣れることができたかという視点で振り返りを書かせる。

8. 本時の指導 (授業者 伊東 大智)

Unit 7 単元名 大分県や日本のおいしい食材を使ったオリジナルサンドのアイデアを広げ、
大分大学の留学生におすすめしよう! 3/5時間

本時のねらい オリジナルサンドのアイデアを増やすために欲しい食材について、互いにとってより伝わりやすいやり取りにするための方法を考えながら尋ね合う活動を通して、慣れ親しんだ簡単な語句や既習の基本的な表現を使うなど、相手に伝わるように工夫しながら、質問をしたり質問に答えたりして伝え合うようにする。

(評価規準) ※本時案に位置づける

具体的な児童の姿 キーセンテンスに加え、既習の表現を使いながら二往復以上のやり取りをしている。

「What do you want?」「What's this?」「It's salmon.」「Nice idea!」「I want salmon, please.」

「OK. Here you are.」「Thank you.」

時間	児童の活動	指導者の活動 ①評価(方法) ※支援を要する児童への手立て
5分	<p>Greetings</p> <p>○はじめのあいさつをする。</p> <p>Warming up</p> <p>○Classroom English Practice</p> <p>【Let's Chant】 What do you want? (P.27)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 児童の言いやすいスピードに調整しながら言うようにする。
2分	<p>Activities</p> <p>○本時のめあてを立てる。</p> <p>欲しい食材を交換し合って、オリジナルサンドの食材のアイデアを増やそう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 前時までの学習をもとに、サンドに入りたい食材についてたくさんやり取りすることで、オリジナルサンドのアイデアを増やしていくという目的を確認する。
8分	<p>○Let's think</p> <p>やり取りに使えるような表現や伝え方を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「Must item」「Good communication item」を元に、前時出し合った、困りの解決方法や友だちの伝え方のよさを振り返り、やり取りをよりよくしていくために使っていきたい表現や伝え方について確認する。
2分	<p>○Let's think</p> <p>よりよくやり取りをしていくための「My Goal」を立てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> よりよくやり取りをしていくために自分が特に気をつけたいことや特に使いたい表現などを考えるようにする。

22分	<p>○Let's Talk</p> <p>オリジナルサンドに入りたい食材について尋ね合い、食材を交換し合う。</p> <p>[想定される児童の姿]</p> <p>児童1 : Look. This is my foods. What do you want?</p> <p>児童2 : What's this?</p> <p>児童1 : It's fried Sekiaji...</p> <p>児童2 : One more time, please.</p> <p>児童1 : It's fried Sekiaji...</p> <p>児童2 : Fried Sekiaji? Nice idea!</p> <p>児童2 : I want fried Sekiaji please.</p> <p>児童1 : Fried Sekiaji? O.K! Here you are.</p> <p>児童2 : Thank you.</p> <p>児童2 : What's this?..</p> <p>児童1 : It's fried chicken.</p> <p>児童2 : I have fried chicken. Sorry.</p> <p>児童1 : Don't, worry.</p> <p>児童2 : What's this?..</p> <p>児童1 : It's French bread... It's very hard.</p> <p>児童2 : Oh! Nice idea! I want French bread, please.</p> <p>児童1 : O.K! How many?</p> <p>児童2 : Two please.</p> <p>児童1 : Here you are.</p> <p>児童2 : Thank you.</p> <p>児童1 : You are welcome.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中間指導で、ペアや全体で、欲しい食材を尋ね合う際の質問の仕方や答え方、考えや気持ちの言い方等の困りの解決方法を考えたり、友だちの伝え方のよさを交流し合ったりすることで、後半の交流でよりよいやり取りを目指すことができるようにする。 ※「What do you want?」「I want ~ , please.」のキーセンテンスを伝えたり聞き取ったりすることが困難な児童には、板書に「お店」と「お客」に分けて位置づけられた「Must item」から、自分の役割に合わせて使うキーセンテンスを確認させ、HRTと一緒に発音するようにする。 <p>◎オリジナルサンドのアイデアを増やすために欲しい食材について、慣れ親しんだ簡単な語句や既習の基本的な表現を使うなど、相手に伝わるように工夫しながら、質問をしたり質問に答えたりして伝え合っている。</p> <p>〈行動観察・振り返りシート記述点検〉</p> <p>◎オリジナルサンドのアイデアを増やすために欲しい食材について、慣れ親しんだ簡単な語句や既習の基本的な表現を使うなど、相手に伝わるように工夫しながら、質問をしたり質問に答えたりして伝え合おうとしている。</p> <p>〈振り返りシート記述点検〉</p>
5分	<p>Comments</p> <p>○Reflection</p> <p>本時の振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよくやり取りをするためにどのような工夫をしたかという視点で振り返りを書かせるようにする。
1分	<p>○HRT のコメントを聞く。</p> <p>Greetings</p> <p>○おわりのあいさつをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよくやり取りをするために、相手意識を持って表現や伝え方を工夫していく姿を価値付けるようにする。

9. 本時の指導 (授業者 平林 侑子)

Unit 7 単元名 大分県や日本のおいしい食材を使ったオリジナルサンドのアイデアを広げ、
大分大学の留学生におすすめしよう！ 4/5時間

本時のねらい オリジナルサンドのアイデアを増やすために欲しい食材について、互いにとってより伝わりやすいやり取りにするための方法を考えながら尋ね合う活動を通して、慣れ親しんだ簡単な語句や既習の基本的な表現を使ったり、ゆっくり話したり、繰り返したり、動作を交えたりするなど、相手に伝わるように工夫しながら、質問をしたり質問に答えたりして伝え合うようにする。

(評価規準) ※本時案に位置づける

具体的な児童の姿 キーセンテンスに加え、既習の表現を使いながら、かつ、相手に合わせて、ゆっくり話したり、繰り返したり、動作を交えたりなどの伝え方の工夫をしながら二往復以上のやり取りをしている。

「What do you want?」「What's this? (指さしながら)」「It's salmon. Salmon. (繰り返す)」「Nice idea! I want salmon, please. (指さしながら)」「OK. Here you are. (ジェスチャーをつけて)」「Thank you.」

時間	児童の活動	指導者の活動 ①評価(方法) ※支援を要する児童への手立て
5分	<p>Greetings ○はじめのあいさつをする。</p> <p>Warming up ○Classroom English Practice</p> <p>【Let's Chant】 What do you want? (P.27)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 児童の言いやすいスピードに調整しながら言うようにする。
2分	<p>Activities ○本時のめあてを立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>オリジナルサンド完成に向けて、欲しい食材を交換し合っ、食材のアイデアを増やそう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 前時までの学習をもとに、サンドに入りたい食材についてたくさんやり取りすることで、オリジナルサンドイッチの選択肢をさらに増やし、次のグローバルタイムでは留学生におすすめするサンドを完成させるという目的を確認する。
5分	<p>○Let's think やり取りに使えるような表現や伝え方を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「Must item」「Good communication item」を元に、前時出し合った、困りの解決方法や友だちの伝え方のよさを振り返り、やり取りをよりよくしていくために使っていきたい表現や伝え方について確認する。
2分	<p>○Let's think よりよくやり取りをしていくための「My Goal」を立てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> よりよくやり取りをしていくために自分が特に気をつけたいことや特に使いたい表現などを考えるようにする。

15分	<p>○Let's Talk</p> <p>オリジナルサンドに入りたい食材について尋ね合い、食材を交換し合う。</p> <p>[想定される児童の姿]</p> <p>児童1 : Look. This is my foods. What do you want? ...(動作をつけて)...</p> <p>児童2 : What's this? (指さしながら)...</p> <p>児童1 : It's fried Sekiaji...</p> <p>児童2 : One more time, please. ...(動作をつけて)...</p> <p>児童1 : It's fried Sekiaji... ...(ゆっくりと)...</p> <p>児童2 : Fried Sekiaji? Nice idea! I want fried Sekiaji please.</p> <p>児童1 : Fried Sekiaji? O.K! Here you are.</p> <p>児童2 : Thank you.</p> <p>児童2 : What's this? (指さしながら)...</p> <p>児童1 : It's fried chicken. ...(ゆっくりと)...</p> <p>児童2 : I have fried chicken. Sorry.</p> <p>児童1 : Don't worry.</p> <p>児童2 : What's this? (動作をつけて)...</p> <p>児童1 : It's French bread. It's hard?</p> <p>児童2 : Oh! Nice idea!</p> <p>児童1 : Yes! It's very hard.</p> <p>児童2 : I want French bread, please.</p> <p>児童1 : O.K! How many?</p> <p>児童2 : Two please. (動作をつけて)...</p> <p>児童1 : Here you are.</p> <p>児童2 : Thank you.</p> <p>児童1 : You are welcome.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中間指導で、ペアや全体で、欲しい食材を尋ね合う際の質問の仕方や答え方、考えや気持ちの言い方等の困りの解決方法を考えたり、友だちの伝え方のよさを交流し合ったりすることで、後半の交流でよりよいやり取りを目指すことができるようにする。 <p>※「What do you want?」「I want ~, please.」のキーセンテンスを伝えたり聞き取ったりすることが困難な児童には、板書に「お店」と「お客」に分けて位置づけられた「Must item」から、自分の役割に合わせて使うキーセンテンスを確認させ、HRTと一緒に発音するようにする。</p> <p>◎オリジナルサンドを作るために欲しい食材について、慣れ親しんだ簡単な語句や既習の基本的な表現を使ったり、ゆっくり話したり、繰り返したり、動作を交えたりするなど相手に伝わるように工夫しながら、質問をしたり質問に答えたりして伝え合っている。</p> <p><行動観察・振り返りシート記述点検></p> <p>◎オリジナルサンドを作るために欲しい食材について、慣れ親しんだ簡単な語句や既習の基本的な表現を使ったり、ゆっくり話したり、繰り返したり、動作を交えたりするなど相手に伝わるように工夫しながら、質問をしたり質問に答えたりして伝え合おうとしている。</p> <p><振り返りシート記述点検></p>
10分	<p>Comments</p> <p>○ペアとのやり取りの動画を撮る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単元を通してやり取りがどのように成長したか振り返るために動画で記録するという目的を再確認する。
5分	<p>○Reflection</p> <p>本時の振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよくやり取りをするためにどのような工夫をしたかという視点で振り返りを書かせるようにする。

1分	<p>○HRTのコメントを聞く。</p> <p>Greetings</p> <p>○おわりのあいさつをする。</p>	<p>・よりよくやり取りをするために、相手意識を持って表現や伝え方を工夫していく姿を価値付けるようにする。</p>
----	---	---